

- 同時発表先 : 広島市政記者クラブ
広島県政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

太田川改修 80 年防災フェア in マツダスタジアム

～ゲリラ豪雨を体験してみませんか～

幾多の洪水から広島市街地を守るために太田川放水路事業が始まってから今年で 80 年を迎えます。近年は治水対策等が進み災害は大幅に減少してきたため、洪水や高潮被害に対する意識が薄れてきているかと思えます。

そこで、この度改めて災害について考えることを目的に、災害の恐ろしさを実際に体験し理解していただく「防災フェア」をマツダスタジアムにて実施します。

●太田川改修 80 年防災フェア

日時:平成 24 年 8 月 15 日(水)15:00~18:00

場所:MAZDAzoom-zoom スタジアム

主催:国土交通省太田川河川事務所 共催:広島市

協力:広島東洋カーブ

<主な内容>

- ・降雨体験:ゲリラ豪雨と呼ばれる時間 100mm 以上の雨を体験できます。
- ・太田川改修 80 年パネル展:昔の太田川の写真などをマツダスタジアム内に展示します。
- ・地震体験:震度7クラスの揺れを体験できます。



降雨体験の様子



太田川放水路建設の様子



太田川
シンボルマーク

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所

副所長(管理・砂防) 湯浅 丈司(ゆあさ じょうじ)

【担当】調査設計第一課長 梶谷 有吾(ますや ゆうご)

082-222-9245 (直通)

太田川の歴史を学ぼう

太田川河川改修80周年



今年は、太田川河川事務所(当時、太田川測量員詰所)が設置され、太田川の本格的な改修が始められてから80周年を迎えます。太田川の歴史は水害との戦いの歴史でもあり、有史以来幾多の洪水被害を繰り返してきました。そのため改修工事を要望する意見が強く、太田川放水路事業は、昭和7年に帝国議会で決定し、昭和9年から改修工事が始まりました。その後、太平洋戦争で工事を中断せざるを得ない時期がありましたが、この間にも昭和18年(台風26号)、昭和20年(枕崎台風)に多数の死者や家屋倒壊などともなう太田川史上最大規模の洪水被害が発生したことから、昭和26年から本格的に工事が再開され、昭和39年に大芝水門、昭和40年に祇園水門がそれぞれ完成、昭和42年に堤防整備も終え太田川放水路が概成しました。



太田川水害の歴史

広島市中心部は「ゼロメートル地帯」と呼ばれる地盤が低い土地であり、一度洪水が起こると甚大な被害が発生します。このため、太田川放水路建設以前は台風などの襲来により数多くの洪水被害を受けてきました。

大正8年
(7月洪水)



広島市三篠町打越

写真：広島市公文書館 提供

大正12年
(6月洪水)



広島市白島町浸水

写真：広島市公文書館 提供

これは
すごい被害だ!

こんなことが
起こったのね。

大正15年
(9月洪水)



広島市幟町小学校前

写真：広島市公文書館 提供

昭和3年
(6月洪水)



広島市常盤橋流失

写真：広島市公文書館 提供



放水路の整備

太田川放水路事業は、昭和7年に帝国議会で決定し、昭和9年から改修工事が始まりました。太平洋戦争の激化により工事を中断せざるを得ない時期がありましたが、昭和42年に太田川放水路が竣工しました。



掘削中の放水路



河道締切中の福島川と掘削中の放水路



現在の放水路

太田川を
これからも大切に
していこうね!

すごく大変な
工事だったんだね。



太田川放水路工事中の祇園水門



完成した祇園水門と工事中の大芝水門



現在の大芝・祇園水門



国土交通省中国地方整備局 **太田川河川事務所**

〒730-0013 広島市中区八丁堀3番20号 TEL.082-222-9246 <http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>



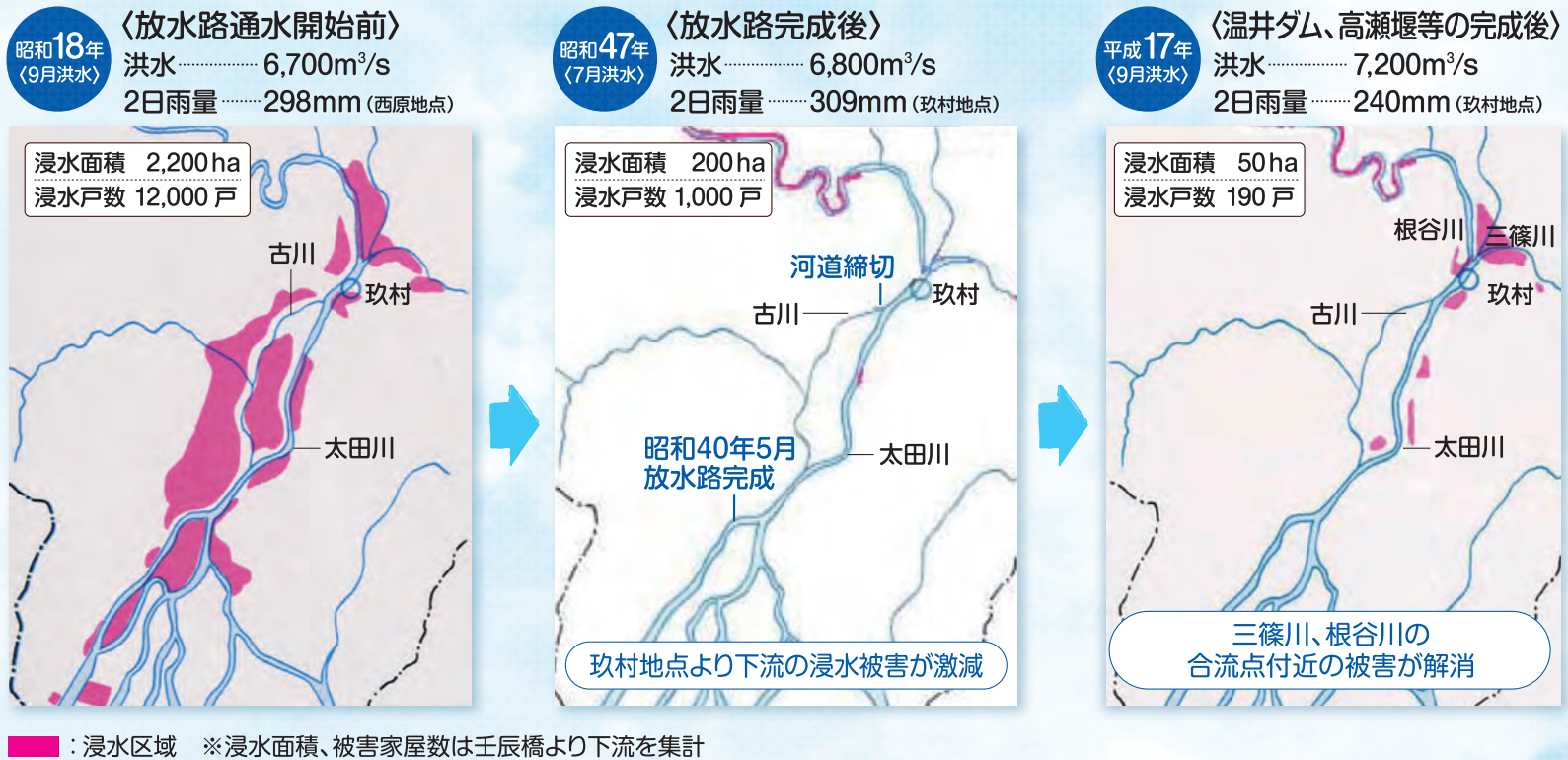
ゴギは太田川の清流に生息するイワナ風の魚。太田川河川事務所のマスコットマークのモデルです。

太田川放水路の整備と効果

太田川放水路事業は昭和39年に大芝水門、昭和40年に祇園水門が完成し、昭和42年に太田川放水路が竣工しました。昭和40年度より本川中流部および支川三篠川・根谷川の重点竣工を行ったほか、昭和44年に古川が締め切られ、昭和50年には高瀬堰が固定堰から可動堰へ変わりました。さらに昭和52年から温井ダムの建設に着手し、平成14年に完成するなど、治水対策を推進しています。

洪水被害の比較

太田川流域の洪水の特徴として9月頃の台風による降雨と、6～7月にかけての梅雨前線による降雨の2パターンがあり、およそ30年に1回の頻度で大規模な洪水が発生しています。

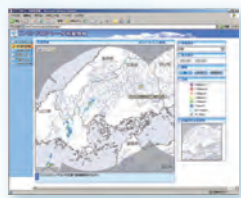


雨が降ったら
まずは確認を!

太田川の防災

土砂災害から身を守るためには、日頃からの備えと心がけが大切です。テレビやラジオ、インターネットを利用して正確な情報を入手し、早めに避難の準備や避難行動をしましょう。

〈XバンドMPLレーダ〉



リアルタイムな降雨観測が可能な「XバンドMPLレーダ」の降雨観測情報の配信を開始しました。下記のHPよりご覧頂けますので、今後の防災活動等にぜひご活用ください。

<http://www.river.go.jp/xbandrader/>

〈地上デジタル放送を用いた防災情報〉



NHK総合の「地デジデータ放送」にて河川水位や雨量の情報提供を開始しました。リモコンのdボタンを押して「河川水位・雨量(くらし)」を選択することで、テレビでも容易に河川水位や雨量を確認することが可能となりました。

〈TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)〉



TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊)は、大規模自然災害が発生、または発生のおそれがある場合に「被災状況の迅速な把握」「被災の発生および拡大防止」「災害応急対策に対する技術的指導」を行うために設置されました。

太田川河川改修80周年 防災フェア in マツダスタジアム

ゲリラ豪雨を体験してみませんか

日時 平成24年8月15日(水) 15:00~18:00

場所 MAZDA zoom-zoom スタジアム 広島



太田川河川改修
80周年パネル展

8月15日(水)、MAZDA zoom-zoom スタジアム広島で広島東洋カープの試合開始前(試合開始18時)に、災害の恐ろしさを実際に体験し理解していただくために「防災フェア」を実施します。近年多発しているゲリラ豪雨の体験や、太田川河川改修80周年のパネル展示等で防災への知識を深めることができます。夏休みの自由研究等にも活用できますので、是非お越し下さい。

〈降雨体験〉

ゲリラ豪雨と呼ばれる時間雨量100mmのどしゃぶりを体験してみませんか?



〈太田川河川改修80周年パネル展〉

昔の太田川の写真などをスタジアム内に展示します。



〈地震体験〉

震度7クラスの揺れを体験できます。



※パネル展は、球場内となりますので入場券が必要となります。主催/国土交通省太田川河川事務所 共催/広島市 協力/広島東洋カープ



国土交通省中国地方整備局

太田川河川事務所

〒730-0013 広島市中区八丁堀3番20号 TEL.082-222-9246 <http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>

